

揖斐高校と岐阜大学が連携
高校生と大学生らが
いびの恵み(魅力)の発信 について語り合います!

平素よりお世話になっております。

本学では、県内自治体など地域と協力して進める「地(知)の拠点整備事業」の一つとして、未来についての対話の場となる「フューチャーセンター※」を開催しています。

今回は、本学学生及び揖斐高校生活環境科の生徒、地域住民のみなさんらが一緒に、揖斐高校が推進する「いびの恵み(揖斐川町の産業や伝統を生かした製品づくり・地域活動)」を広く発信していく方法についてアイデアを出し合います。つきましては、取材方よろしくお願ひします。

記

1. 行事名 第2回 自然豊かないびワクワクフューチャーセンター
2. 日時 平成27年6月5日(金) 13:20~15:20
3. 場所 県立揖斐高等学校 城台会館 (揖斐川町三輪1852 TEL:0585-22-1261)
4. テーマ 「いびの恵みの発信 ~効果的な発信方法を考える~」
サブテーマ (1) 伝えたいいびの恵み(いいところ)
(2) いびの恵みを知ってもらうために、どんな発信方法が考えられるか?
(3) いびの恵みをもっと世界へ発信するには?
5. 参加者 61人
(予定) 内訳: 揖斐高校生活環境科3年生38人、岐阜大学学生10人、
揖斐川町職員3人、一般10人
6. 方法 グループによる話し合い

※フューチャーセンター

複雑な課題について、多様な人々が集まり、未来志向で創造的に議論する「対話の場」をいいます。欧州の公的機関などで発展し、日本では企業や大学等で設置が広がりつつあります。

【本学と揖斐高校とのフューチャーセンター開催実績】

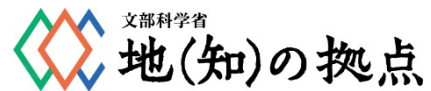
- 第1回 自然豊かないびワクワクフューチャーセンター
開催日 平成26年10月2日
テーマ 「いびについて語ろう!~地域のために若者ができること~」
参加者 36人

<参考>

岐阜大学の「地(知)の拠点整備事業(大学COC センター オブ コミュニティ (Center Of Community) 事業)」

岐阜大学が県内自治体等と連携し、「地域にとけこむ大学」を目指して行う教育・研究事業。

- 事業名称 ぎふ清流の国、地×知の拠点創成：地域にとけこむ大学
- 目 標 地域の諸問題に取り組み、地域社会において存在感のある大学として、地域社会の活性化に貢献する
- 3つの柱
- ①教 育：地域にとけこみ活躍する人材の育成
(次世代地域リーダー育成プログラムの展開)
 - ②社会貢献：自治体や地域住民、大学などがともに地域課題について対話する場
(フューチャーセンター) の設置
 - ③研 究：地域を志向する研究の推進



当事業は文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の支援のもと推進されています